

足し算と掛け算

校長 山川 毅

通勤途中で目にする高校1年生の真新しい制服姿や社会人1年目の方々のスーツ姿も、4月当初と比べると板に着いてきたように感じます。私自身も新天地鑑水中学校に着任して、1カ月が経ちました。正直申し上げますと、異動は何度経験しても苦手です。昔は、若さに任せたエネルギーと未知なることへの好奇心からか、さほど抵抗はありませんでしたが、この年齢になると諸事に対する不安感が勝り、異動前後（3月末～4月中旬）はため息の連続、胃が痛くなる日々……。

しかしながら、本校に着任し、教職員、生徒、保護者、地域の方々との素敵な出会いを重ねているうちに少しずつ馴染んで参りました。通勤に関しては、前任校は自宅の最寄り駅から2駅でしたが、この4月からは電車・バスの乗り換え4回と少々手ごわい通勤路です。しかしながら、本校最寄りのバス停からの徒歩は、大変心地よい時間です。余計な雑音がなく、鳥のさえずりが聞こえてきます。道の両脇は、様々な色の緑で囲まれています。やさしい色、強い色、どれも心が和みます。鑑水中学校の環境は素晴らしいです。

一番嬉しいことは、生徒たちの様子です。まだ日は浅いのですが、本校の生徒は、全体的に「素直で、純朴」という印象をもちました。また、プラスの評価として、「時間を守る」「集団で集合した時の態度」という基本的なことが身に付いていると感じております。この2つは、集団生活を行う上で常々重要なことと考えておりますので、とても素晴らしく感じました。そしてもう1つは、「挨拶」です。声を掛けるとほとんどの生徒が目合わせて気持ちのよい挨拶をしてくれます。生徒のおかげで、とても気持ちのよいスタートが切れたと感じております。

4月14日の初めての朝会において、最初の話として次の話をしました。

“今日は算数のお話をします。

足し算の問題です。

$50 + 50$ は？→100です では、 $50 + 50 + 0$ は？→100です

次に掛け算の問題です。

10×10 は？→100です では、 $10 \times 10 \times 0$ は？→0ですね。

人間の成長を算数で例えるなら、足し算ですか？それとも掛け算ですか？

すごく勉強が得意な人がいるとします。テストでは毎回100点。スポーツ万能。体育祭ではいつもヒーロー。運動神経も100点満点。でも、この人は、人間性がよろしくない人です。足し算なら、勉強100点＋スポーツ100点＋人間性0点で、この人は200点の人。掛け算なら、勉強100点×スポーツ100点×人間性0点で、この人は0点の人です。”

私は人間の成長は掛け算だと思っています。今までたくさんの生徒と出会ってきましたが、やはり将来社会で通用する生徒は、勉強・スポーツ・芸術だけでなく、人間性が優れている生徒でした。中学生は、勉強して頭を鍛えます。運動して体を鍛えます。音楽や美術に触れ、感性を磨きます。そして栄養（食事）を摂り、夜は体を休めて成長していきます。でも、一番大切なのは心ではないでしょうか。素敵な心を持たない人間は、最終的に成長できません。誠実に自分がやるべきことをこなし（誠実）、何事も粘り強くあきらめないで取り組んで（粘り強さ）、周りの人と協力できる人（協調性）。さらに、人の痛みがわかり、自分も他人も大切にできる人。そんな大人になれるように、心を磨いて欲しいと思います。このことを常に念頭に置き、日々の教育活動を進めて参りたいと思います。



新入生歓迎会

ガイダンス・生徒会活動の充実



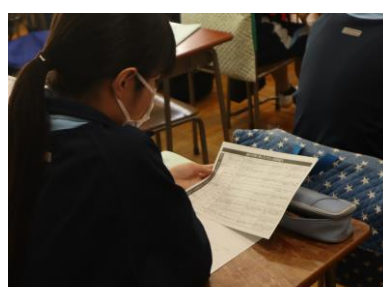
↑劇で「鏈水 5 項目」を紹介する生徒会本部役員

4月10日（木）に新入生歓迎会を開催しました。生徒会本部による劇での「鏈水 5 項目」の紹介、各専門委員長による自身の成長を交えた委員会活動の説明、2・3年生有志による歓迎のパフォーマンスがありました。特に卓球部による入学を祝う的当てチャレンジは会場全体が盛り上がっていました。

1年生は、鏈水中での生活の様子が少し分かったと思います。2年生、3年生も含め、新たな自分を見付けるために、新たなものに挑戦することを願っています。

未来フォワードタイム～「鏈水中学校で育てたい非認知能力」を基に目標を決める時間～

非認知能力の育成



4月14日（月）、今年度、第1回の「未来フォワードタイム」を実施しました。「未来フォワードタイム」は、「鏈水中学校で育てたい非認知能力」を基にキャリアパスポート【目標設定・振り返り】に取り組む時間です。鏈水中学校では、育てたい非認知能力として「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」の3つの力として整理しています。保護者の皆様には4月の保護者会で配布させていただいておりますので、ぜひ御覧ください。

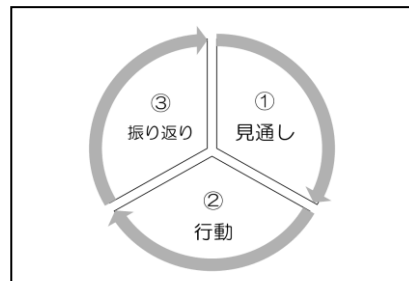
さて第1回の「未来フォワードタイム」では、全校生徒が今年度の目標を決めました。生徒が選んだ伸ばしたい力と生徒が決めた目標を紹介します。

生徒が選んだ伸ばしたい力	目標
自制心	学習や係活動でやるべきことを理解し、集中して取り組む。
向上心	委員会の仕事で全体に発表すること等、苦手なことであっても失敗を恐れずに挑戦する。
敬意・尊重	常に友達のことや相手のことを考えて行動し、人間関係のトラブルをなくして、仲良くしたい。



キャリアカウンセリング

非認知能力の育成



↑上左・上中：「キャリアカウンセリング」の様子 上右：非認知能力を伸ばす「AAR サイクル」

2・3年生は4月14日から約2週間、「キャリアカウンセリング」を行いました。1年生は4月30日から5月7日までの予定です。「キャリアカウンセリング」とは、担任との二（三）者面談で、生徒が設定した非認知能力の目標について、指導助言するものです。ある生徒は身に付けたい力に「向上心」を選び、目標を「委員会活動で生徒全体に説明することが苦手だけど、失敗を恐れずにとりくむことができる」としていました。担任からは「分かりやすく伝えるために、準備したり、事前に先生に助言をもらったりすると良いですね。体育大会でもクラスで話す機会もありそうですね。期待しています。」と目標達成のための助言をしたり、励ましたりしていました。

今回、「キャリアカウンセリング」を受けた生徒は「目標が明確になったので良かったです。意識して学校生活を送りたいと思いました。」と感想を話していました。また実施した教員は「生徒の目標と重点的に伸ばそうとしている力がはっきりしたので、普段からの声かけが変わってきそうです。」と手応えを話していました。

非認知能力を身に付けるのに、さほど特別なプログラムは必要ありません。子どもたち自身が伸ばしたい力をあらかじめ意識して見通し（Anticipation）をもち、実際に行動（Action）して、やりっぱなしにせず振り返り（Reflection）をするという「AAR サイクル」を回すことが大切です。

次回の「キャリアカウンセリング」は学期の中間で、進捗状況を確認し教員から助言します。次々回は夏季休業日中の三者面談で振り返りをします。御家庭でもお子様が伸ばしたい力として選んだ非認知能力やキャリアカウンセリングについて話題にしてください。

教職員の退職と転入のお知らせ

4月18日の保護者会でお伝えしたように、4月30日付で、国語科 第2学年副担任 吉村 美貴 教諭が一身上の都合で退職しました。

後任に5月1日付で、八王子市立由井中学校より、国語科 星野 裕貴 教諭が着任しました。第2学年副担任、野球部を担当します。